

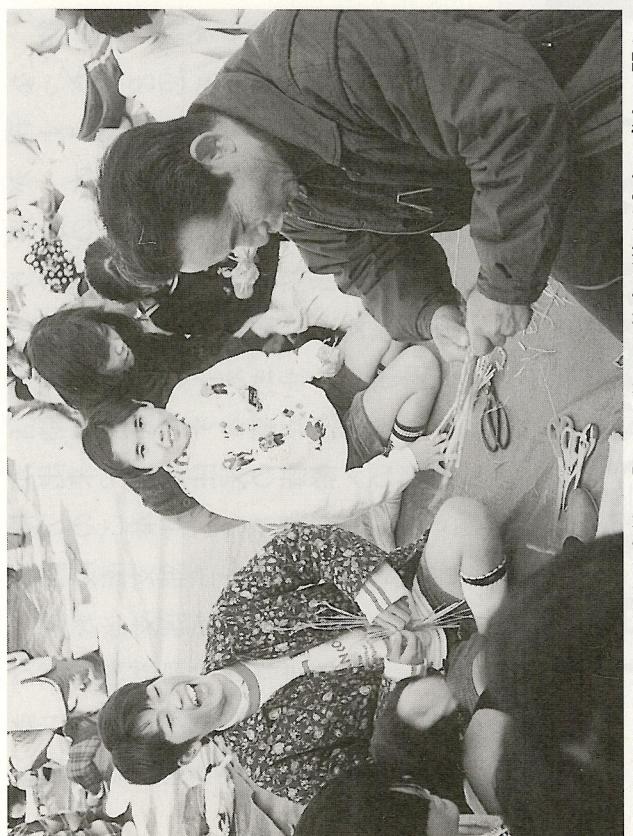
社協陵南支部だより

第2号

平成7年3月15日発行
 各務原市社会福祉協議会
 陵南連合支部



この調査では、15項目の質問に回答いたしましたが、紙面の関係もあり、今回の支部だよりでは、二つの項目について、調査結果とグラフを掲載します。掲載できなかつた項目については、次号でもご紹介させていただきます。



12月17日 陵南小学校体育館で「しめ縄飾り」教室が約140名の参加で開かれました。



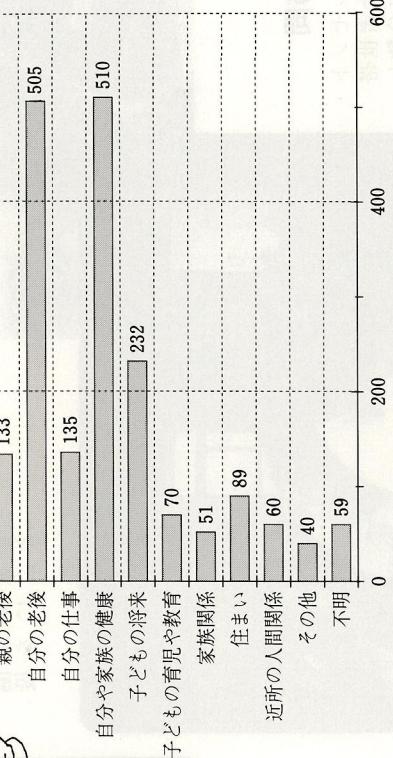
「こんなことが、一番困るんだよ。
こんなワービングがおもしろいのになあ。」

調査実施日 H5.11.15~11.30
 配布世帯数 1,766世帯
 回収数 1,507世帯
 収率 85.3%
 ※ご協力ありがとうございました。

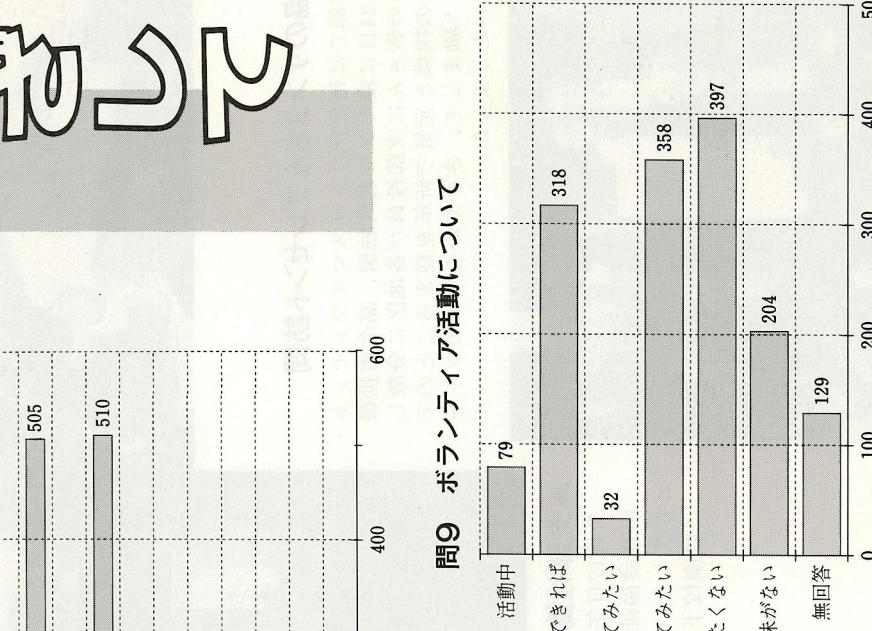
活動したいと意欲的な人を含めれば52%と約半数の方が、ボランティア活動の関心が高くなっています。今後、ボランティア活動の具体的なPRも必要と思われます。

問15の「福祉のことで一番知りたいことは?」では、年金や老後が一番多く、福祉の制度と答えた人が次

問7 暮らしの中で気がかりなことは?



問9 ボランティア活動について

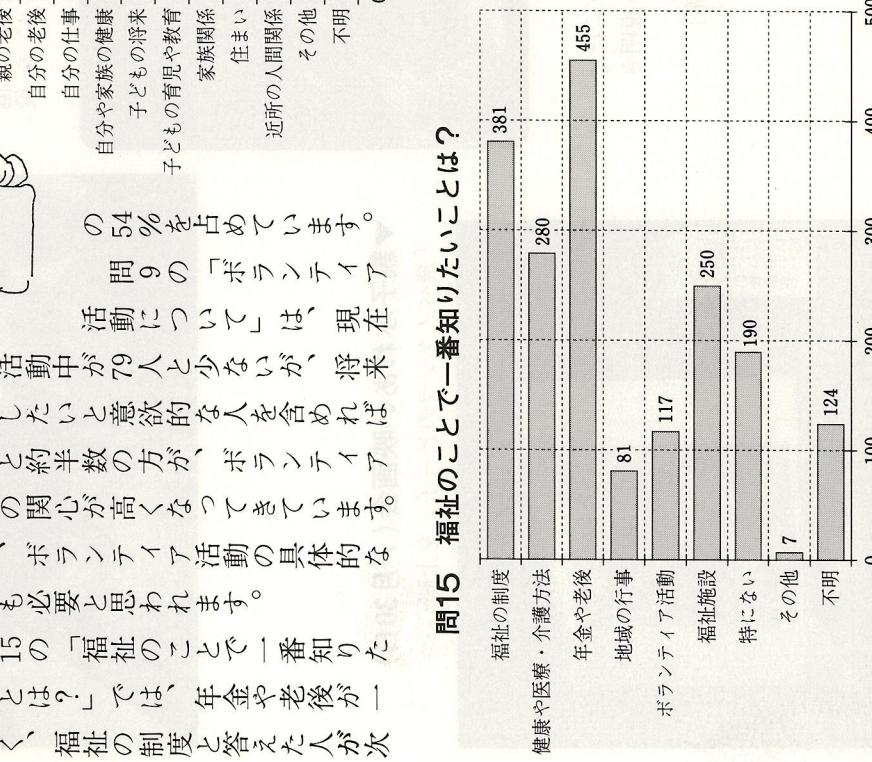


住民意識調査まとまる

平成五年度（平成5年11月15日）に、自治会のご協力を得て実施いたしました『福祉のまちづくりのための住民意識調査』がまとまりましたので、調査にご協力いただきました皆さまにご報告いたします。

に多く、さらに健康や医療・介護方が続いている。社協では、支部ごとで、介護講習会を開催しています。

問15 福祉のことで一番知りたいことは?



一年を顧みて

社会福祉協議会陵南支部長
丹羽克久

久

は、ますますご清栄のこととお慶
申しあげます。平素は、社協陵
南支部活動に、ご指導ご理解を賜
り誠に有り難うございます。

二回陵南支部だよりを関係者の皆
様方のご奉仕により発刊すること
なお当支部では本年度より、年
度厚く御礼申し上げます。
六年度の活動を終了する事が出来
ました。紙面を借りて、あらため
一回陵南支部だよりを関係者の皆
様方のご奉仕により発刊すること
なお当支部では本年度より、年
度厚く御礼申し上げました。

刊する事が出来、少しは人並みに
終わる事かと思っています。
发展と、皆様方のご多幸をお祈り
し、退任の辞と致します。

今年かけて、長期地域福祉活動計画
が策定され、活動基盤の強化、将
ちづくりに向けた益々の発展が期
温もりとやすらぎのある福祉のま
来の発展の方向などが確立され、
おり未発刊で当支部も該当支部で、
七支部のうち四支部が、支部だよ
り自身のせまい思いをしてきました。

なお客様原市地域特性として、
市外への通勤者が多く、市民の連
帯感の低下や住民相互のつながり
の希薄化、都市化の進展による住
環境の変化による高齢者世帯、ひ
とり暮らし老人の急増が予想され、
又、出生率の低下による少子化社
会をもかえ、今後福祉サービスを
必要とする世帯も年々増加するも
況下当支部におきましても、副支
部長を始め、理事、推進員等各種
役員の皆様方のご尽力により平成



活動を展開（下半期の事業）



慈光園友愛訪問

7年1月10日、陵南社協役員で、慈光園住民の皆様へ啓蒙訪問を行ない、入園している皆様に粗品を送り、又「カラオケ」活動の一助とする事が出来ました。



▲支部社協会員募集説明会

7月17日午後2時より陵南福祉センターにて市社会福祉協議会より社協の重要性を説明されました。(陵南校下各自治会班長以上100名出席)



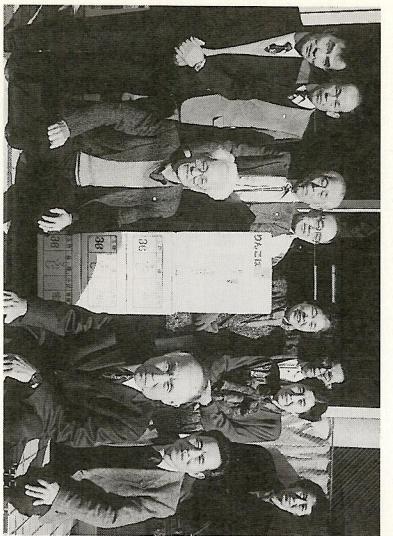
▼親子ふれあい映画会(7月30日)

「飛べ! クジラの王子」を上映



陵南支部では毎年行うクリスマスプレゼントを12月24日に渡たきり老人独居、高令者世帯29世帯に支部役員が各地区に分散して年末の挨拶と元気で新年を迎えることでお渡しました。

▼社協のサンタさんプレゼント訪問



ふくしふれあいの会

一年二組 ふじさわともす

わたしは、ふくしふれあいの会で、どつてもすゞいを見つけました。それは、小森さんのことです。小森さんは、生まれたときに、空気がじゅうぶんあたまにのぼらなくて、生まれるのにも時間がかかりました。でも、小森さんには、もつとつらいことがありました。それは、小学校で、石をなげられたり、いじめられたりしたことでした。それでも、小森さんは、くじけないで、いじめられたりしても、がんばって学校へ行きました。わたしだつたら、たぶん、もうくやしくて、学校へ行くのがいやになつたと思います。わたしは、小森さんが、どつても心の強い人だなど思いました。小森さんが、くじけずに学校へ行つたように、わたしも、これからがんばって学校に行きたいです。

車
い
す
二年 あらいあや

学校に車いすがきたよ。たたんであつて、びっくりしたよ。だつて、車いすがたためるなんて、しらなかつたもん。それに、かんだんにひろげられるんだよ。

まず、きずうしつでのり方をおしえてもらつて、ろう下でのつてみた。ブレーキをかけて、すわつてから、足をのせたよ。右や左にかんだんにうごかせて、すごいなあとと思った。

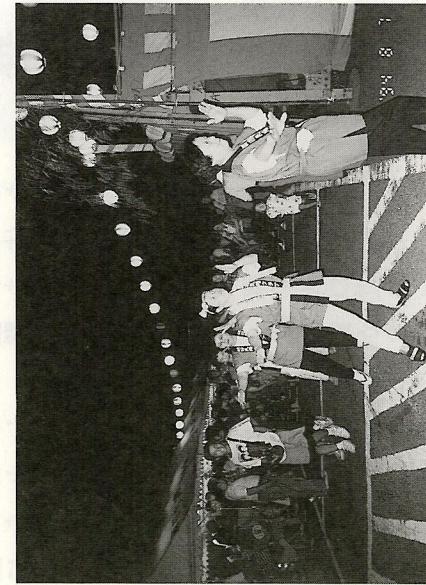
わたしは、車いすにのつたとき、きもちがよかつたけど、手だけしかつかえなくて、ずっとあのままの人

次ページに



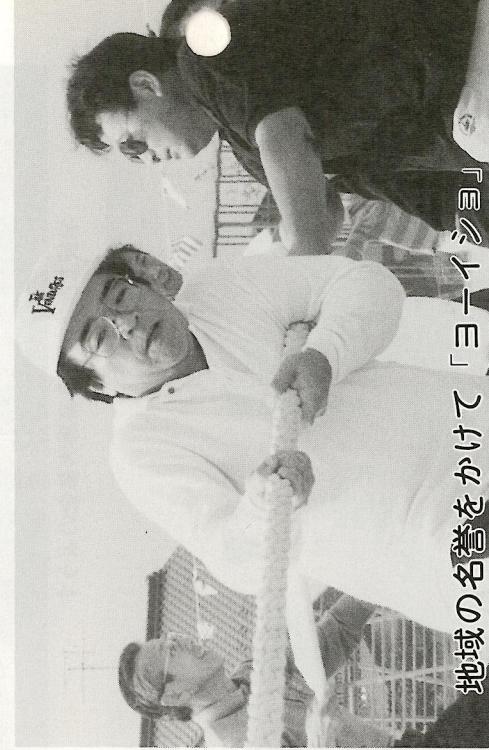
陵南支部から小学校に福祉の書籍を贈呈

この一年 こんな福祉



▼朝日町盆おどり大会

六年八月七日 朝日Aコープ前にて
(陵南社協支部協賛)



地域の名誉をかけて「ヨーヨージョ」

▲市民運動会(10月16日)

秋晴れに恵まれ、約1,200人が参加して行われました。若いも若きも日のストレスを解消するなど、地域住民との交流を深めました。

▼しめ縄飾りにチャレンジ(12月17日)

苦労して、「しめ縄飾り」を作りあげた児童たち。

実感から笑顔で作品を手にする子供たち。



▲サンバレーかかみ野
施設の説明を聞く役員



陵南小学校の福祉活動から

陵南小学校は、平成5年度より3年間、福祉協力校の指定を受け、「車いす試乗体験」や「身体障害者による福祉ふれあいの会」を開いたり、盲導犬募金を行ったり、子どもたちの思いやり、やさしい心が育っています。



福祉ふれあいの会で冒導夫と一緒に歩く子どもたち



学校玄関前で行う盲導犬募金のようす



学校の中で車いすの体験学習も行った

陵南支部だよ(1)

福祉学習で学んだこと

■人口
6,513人
(男 3,214人)
(女 3,299人)

■世帯数
1,905世帯(1世帯あたり3.4人)

■老人人口
(65才以上)
618人
(人口の9.5%)

**私たちの住む
陵南連合支部**

福祉の現状

| ■1人暮らし老人 | ■寝たきり老人 |
|--------------------|--------------------|
| 17人 (老々介護の2.8%) | 18人 (老々介護の2.9%) |

■

三人の人は私達以上にこらへ思ひをされただと思つ。これを機会に、自由に動けない人々のことを考えてしけるよつた、心のやさしい人になりたくたださつて、一生懸命生きていきたいと思つた。

「一生懸命生きていきたい」と思つた車イスの重さを手で支え、自分の体重とぐには動かなかつた。自分の体重とつた。そればかりか、部屋に入る時によつには、手が重くなり疲れてしまふ。手にはらないからだ。動かしていくにはドアにぶつからつて、自分の思うる時は、どうなるのだろう。

こんなに大変とは思わなかつた。これで町に出ていろいろな活動をするなんて、どんなにか困難だらう。

また、使用の仕方ひとつで危険にもつながる。

近くで困つている人がみえたら、協力できるじとをみつけ、自分から声をかけていきたい。

乗体験をした。前から乗りたくてたその学習に先立つて、車イスの試乗つた。福祉訪問のキャラバン隊の方が四人十一年に、福祉体験学習があつた。来てくださいました。

六年 武田和之

車イス試乗体験